

ADOBE® ROBOHELP™ 7

プロフェッショナル仕様の ヘルプシステムとナレッジベースを 簡単に作成



Adobe RoboHelp 7 は、ヘルプ作成のプロフェッショナルやテクニカルコミュニケーターが、多様なヘルプシステムや、独立型ナレッジベースのための魅力的なコンテンツを、複数の言語およびフォーマットで作成、管理、パブリッシングできるソフトウェアです。

魅力的なヘルプコンテンツを簡単に作成

RoboHelp 7 を使用すれば、魅力的なコンテンツを一から作る手間をかけずに、簡単に作成できます。既存のヘルププロジェクトを利用したり、HTML、XML、Adobe PDF、Adobe FrameMaker®、および Microsoft Word ドキュメントからコンテンツを読み込むこともできます。RoboHelp はタグ付き情報を適切にヘルプトピックに分割し、既存の目次、索引、および用語集を保管できます。Unicode の新規サポートにより、複数の言語でコンテンツを作成、編集、スペルチェックができます。自動ウィザードおよびトピックテンプレートを使用すれば、目次、索引、用語集、グラフィック、音声、映像、シミュレーション、ブレードクラムナビゲーションなどの標準および拡張ヘルプ機能を組み込んだ、プロフェッショナル仕様のヘルプシステムやナレッジベースを短時間で作成することができます。また、内蔵のスクリーンキャプチャ/画像編集ツールを使用して、画面のキャプチャリングやスクリーンショットの編集が可能。20種類以上の画像ファイルフォーマットで画像を作成することができます。ヘルプシステムをご使用のアプリケーションにリンクさせれば、手軽に状況依存ヘルプを作成できます。

一度の作成で何度でもパブリッシング

RoboHelp 7 は、一度作成すれば何度でも公開できるパワフルなシングルソース出力をサポートしています。特定のフォーマットまたは目的に合わせた出力を行うためには、複数の目次を生成し、目次、索引項目、フォルダ、およびトピックに条件タグを適用します。そしてバッチ処理により、1つのソースプロジェクトから、WebHelp™、Adobe FlashHelp™、HTML、Compiled HTML Help、JavaHelp、Oracle Help for Java™、WinHelp など、複数のオンラインフォーマットで作成されます。

他の作成者と共同で作業

RoboHelp 7 を使用すれば、メンバー間の共同作業が可能になります。パワフルなコンテンツ管理機能により、複数のヘルプ作成者が協力して作業を進めることができます。上書き防止のため、ファイルへのアクセスは1度に1人のユーザーに制限されます。タイムスタンプ、ファイルの編集履歴、および自動ファイル比較機能によって、ドキュメントの更新を系統的に追跡管理できます。また、Adobe RoboSource Control により、いつでも以前のバージョンにロールバックできます。

必要システム構成

RoboHelp 7

- ・インテル® Pentium® 4、インテル Centrino®、インテル Xeon®、またはインテル Core™ Duo クラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- ・Microsoft® Windows® 2000 (Service Pack 4) 日本語版、Windows XP (Service Pack 2) 日本語版
または Windows Vista™ Home Premium、Business、Ultimate、もしくは Enterprise (32-bit 版) 日本語版
- ・256MB 以上の RAM
- ・850MB 以上の空き容量のあるハードディスク (インストール時には追加の空き容量が必要)
- ・CD-ROM ドライブ
- ・プロダクトアクティベーション (ライセンス認証) のためにインターネット接続または電話回線

サポートされているオーサリング環境

Adobe Dreamweaver® CS3、8、Macromedia® Dreamweaver 8、Microsoft FrontPage 2003、HomeSite 5.5、Microsoft Word 2007、Word 2003、Word 2002、Word 2000

機能と利点

Unicode のサポート

複数の言語によるコンテンツの作成、編集、スペルチェックと、ほとんどのヨーロッパおよびアジア言語での出力が可能です。

最新のユーザインタフェース

高度な最新のインタフェース機能により、優れたコンテンツをより早く作成できるようになりました。

Adobe FrameMaker 8 のサポート

改良されたスタイルマッピング、条件タグ、ユーザ定義の変数を使用して、Adobe FrameMaker 8 の MIF および .fm ファイルを読み込むことができます。また Adobe Captivate™ のコンテンツをそのまま読み込むことも可能です。また、FrameMaker の「読み込み設定」を取り込み、保存できます。

ユーザ定義の変数

特定のテキストエレメントおよびオブジェクトにグローバル変数を定義して、プレースホルダを迅速かつグローバルに変更できます。

ハイパーリンク、ポップアップおよびイメージマップ

他のトピック、ロールオーバーメッセージ、カスタマイズされたポップアップウィンドウにつながるテキストやグラフィックに、リンクを追加できます。

Adobe RoboSource Control

バージョン管理のための、このパワフルなコンテンツ管理システムを活用すれば、プロジェクトやファイルを共有することができます。

ブレードナビゲーション

ブレードナビゲーションにより、ヘルプシステムの使いやすさが改善されます。

Adobe Captivate および RoboScreen Capture との統合強化

Adobe Captivate シミュレーションの挿入と編集、スクリーンのキャプチャリング / 編集を簡単に行うことができます。また、ご使用のオーサリング環境から、一般的な画像ファイルフォーマットで画像を作成することもできます。

グラフィックおよびマルチメディアのサポート

スクリーンショットなどのグラフィックを統合し、MP3 サウンドファイル (ローカルマシンに MP3 プレイヤーが必要)、Adobe Flash® Player 対応のアニメーション、および AVI ビデオクリップを利用すれば、ヘルプシステムを強化できます。

MDI のサポート

複数の RoboHelp トピックを同時に開き、編集やコピー&ペーストなどの作業を並列で行うことができます。

検索機能の強化

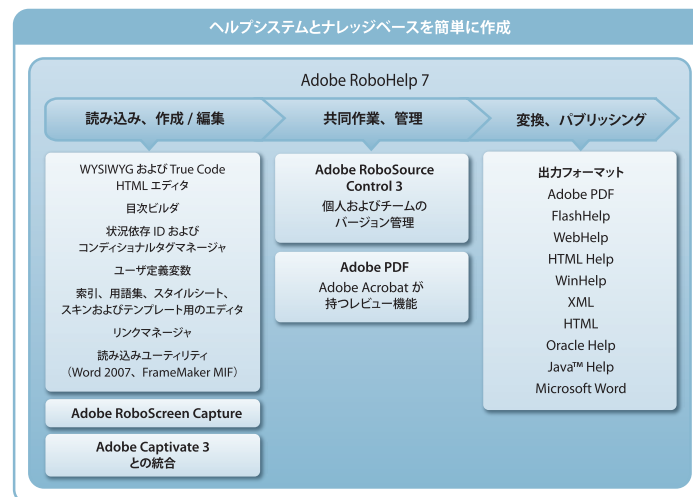
WebHelp および FlashHelp システムの検索機能が強化され、検索用語を強調表示できるようになりました。

Microsoft Office 2007 および Windows Vista のサポート

Microsoft® Windows Vista™ 上で Microsoft Word 2007 を使用して、Word 2007 ファイルの読み込みや書き込みを行えば、印刷可能で使いやすい Adobe PDF ファイルや Word ドキュメントが作成できます。また、RoboHelp for Word でサポートされているリボンユーザインターフェイスにより、生産性も向上します。

詳細情報

Adobe RoboHelp 7 の詳細については、www.adobe.com/jp/products/robohelp を参照してください。



アドビ システムズ 株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎 イーストタワー
www.adobe.com/jp

Adobe Systems Incorporated

345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA
www.adobe.com

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Captivate、Dreamweaver、Flash、FlashHelp、FrameMaker、Macromedia、および RoboHelp は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。インテル、インテル Centrino、インテル Core、インテル Xeon、および Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。Microsoft、Windows、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Java は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.
95009187 9/07